

## おわりに

平成20年度から「高等学校における特別支援教育を推進するための研究調査」を実施し、平成22年度からは、その研究調査を引き継ぐ形で「高等学校における特別な支援を必要とする生徒を把握するための実態調査」事業を実施しました。

平成21年度の県内県立高等学校の不登校生徒数は215人、中途退学の生徒数は180人でした。各学校の組織的な取組により、出現数・出現率ともに減少傾向にあり、また、全国平均に比べてその出現率は低くなっています。しかしながら、不登校生徒のうちの約30%が中途退学につながり、その後、ひきこもりに移行する割合が高いという状況を考えるとき、不登校や中途退学への未然防止の取組は重点課題といえます。また、不登校の生徒の中には、その背景にかなりの割合で発達障がいがあることもわかってきました。

発達障がいのある生徒への指導・支援については、早期の気づきと適切で組織的な取組が必要です。しかし、適切な対応がなされないまま当該生徒の自尊感情が下がり続けると、本来の障がいからくる困難さとは別に、不登校や問題行動といった二次的な問題に移行するケースもあります。

本ガイドブックは、3カ年の研究調査・事業の取組を通じて得られた成果をまとめたものです。本ガイドブックが、各学校における特別支援教育の推進や不登校・中途退学への未然防止の取組に活用していただければ幸いです。

最後に、本実態調査にご協力いただきました各高等学校、本ガイドブックの執筆・監修にもご協力いただきました小枝達也教授、大西真理教諭に厚くお礼を申し上げます。

### \* 研究調査・事業協力校

H20～H21 鳥取湖陵高等学校

H22 鳥取緑風高等学校 智頭農林高等学校 米子東高等学校

### \* 指導助言者

鳥取大学地域学部 教授 小枝 達也

鳥取西高等学校 教諭 大西 真理

### \* 鳥取県教育センター教育相談課

課長 護田 彰一

指導主事 梶川 節美 浅田 倫也 前田 昌宏 中島 康太